



第2回教育活動に関するアンケート調査(保護者用)集計結果について

保護者の皆様には、日頃より学校での教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、2学期末にご協力いただいた保護者アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせします。お忙しい中、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

1 アンケート結果から

■下記の数値は肯定的な評価を4として、1～4の4段階で評価し、平均をとったもの

調査日: 令和2年12月14日(月)～18日(金)

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
学習	1	子供は授業が分かると言っている。	3.1	2.7	-0.4	2.8	2.7	-0.1	3.0	3.0	0
	2	子供が学習習慣を身に付け、継続的に家庭学習が行えるよう指導がなされている。	3.1	3.1	0	3.2	3.1	-0.1	3.2	3.3	+0.1

【主な記述意見から】

▲苦手とする教科の授業が分からないと言っている。○単元テストで確認できることはよい。○自学ノートを先生がしっかり見てくれコメントまで書いてくれることで、モチベーションが上がっているように思う。

「授業の内容が分かると言っている」と答えている割合が1, 2学年で低下しました。3学年においては、「そう思う・どちらかといえばそう思う」という肯定的な評価が8割を超えました。(1回目76.7%→2回目83.3%) 全ての教職員は、子供たちが課題意識や目的意識を持って授業に取り組み、その授業を振り返った時に「確かな学び」を実感することができるよう、日々の授業改善に取り組んでいます。今後も、より子供たちの視点に立った授業づくりに努めてまいります。また、「分からないから教えて」と子供たちが自分から言えるような雰囲気づくりを大事していきたいと考えています。じっと誰かが助けてくれるのを待つのではなく、積極的に助けを求められる力(主体性)をつけてほしいと思います。このような力が、学力向上に結びついていくと考えます。

「子供が学習習慣を身に付け、継続的に家庭学習が行えるような指導がなされている」という点では、どの学年も「そう思う・どちらかといえばそう思う」という評価が9割程度となっています。3学年においては、94.4%という高評価でした。本校では、全校で「自学ノート」(家庭学習)に取り組んでいます。生徒自身で取り組む教科や課題を設定し、毎日、ノートに1ページ以上取り組むことになっています。学級担任が中心となりアドバイスをしたり、生徒同士が互いに「自学ノート」を紹介し合ったりしながら、工夫して取組を継続しています。場合によっては、学級担任から教科担任につなぐこともしています。また、毎週水曜日は、部活動顧問が、「自学ノート」を点検するなど、多くの教職員で見えています。今後も教科毎に課題を提示し、積極的に声を掛けながら学習習慣の確立が図れるよう努めていきます。

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
生活	3	学校は命の大切さやあいさつ、マナー等、社会のルールを守る態度を育てている。	3.4	3.4	0	3.4	3.2	-0.2	3.6	3.6	0
	4	学校は登下校中、学校や地域でのあいさつを励行する態度を育てている。	3.4	3.4	0	3.3	3.2	-0.1	3.5	3.5	0
	5	学校はいじめを生まない学校づくりに努めている。	3.3	3.1	-0.2	3.2	3.1	-0.1	3.2	3.3	+0.1

【主な記述意見から】

- ▲登下校時は、もう少し元気なあいさつが聴きたい。○来校すると、いつも気持ちのいい挨拶をしてくれる。
- ▲いじめは学校だけの問題にせず、家庭や地域とも相談できる体制づくりに努めてほしい。

今年度に入り、あいさつについては大きな課題として受け止め、まず、教職員自らが手本となるあいさつをするとともに、子供たちにあいさつの意義について考えさせる機会を設けたりしました。また、あいさつだけでなく、名前を呼ばれたら、はきはきとした返事ができるようにも指導しています。生徒会でも、三大伝統（あいさつ・エール・防災学習）の中で、あいさつを最重点課題と受け止め、部活動毎のあいさつ運動や「あいさつMVP」の実施など、新たな試みに取り組んでいます。

「いじめを生まない学校づくりに努めている」という点で、「思わない・どちらかといえば思わない」と答えた方が、1年生で3名、2年生で1名、3年生で3名でした。（1回目の調査では、1年生で1名、2年生で2名、3年生では5名でした）。学校では、「いかなる理由があってもいじめは許されない」ということを道徳の時間を中心に全教育活動を通して指導しています。毎月実施する「学校生活アンケート」や学校生活の中で、気になる言動や変化がみられた時は、その都度、子供と面談をしたり、保護者の方に相談したりしています。今後もアンケート等の活用を図りながら生徒の悩みをキャッチし、適切な対応に努めていきたいと考えています。子供同士が互いのよさを知り、認め合える関係がつかれるように支援していきたいと思ひます。ご家庭において、気になる様子や心配事、ご要望がある場合は、遠慮なく学校にご連絡いただきたいと思います。生徒会においては、今年度も「いじめゼロCM」や「いじめ防止標語」の作成に取り組みながら、自分たちでいじめのない居心地のよい学校をつくっていかうと声を掛け合っています。

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
諸活動	6	生徒会や部活動等の諸活動において、活躍の場が設定されている。	3.4	3.3	-0.1	3.4	3.4	0	3.4	3.6	+0.2
	7	部活動の指導方針について、適宜、保護者と顧問の共通理解が図られている。	3.2	3.0	-0.2	2.9	3.1	+0.2	3.2	3.5	+0.3
	8	学校は、地域の教育資源や人材を生かした教育活動を行っている。	3.3	3.6	+0.3	3.5	3.5	0	3.5	3.6	+0.1

【主な記述意見から】

- ▲生徒が少ないためなのか、一人の負担が大きすぎないか心配である。
- 語り部ボランティアに積極的に参加するようになり、子供の世界が広がったような気がする。
- 一人一人がそれぞれの分野で活躍できる環境だと思う。

「部活動の指導方針について顧問との話し合いが持たれていない」と回答している1年生の保護者の割合が増加しました。基本的に、全ての部活動が「部活動ガイドライン」の則り活動しています。部活動ガイドラインについては、年度当初の文書配布のみに止まらず、ホームページでも周知を図っていきたく思います。また、これまでどおり、各部毎に練習計画をお知らせし、活動の様子についてもホームページ等を活用しながら積極的にお伝えしていきたく思います。保護者会が必要である場合は、保護者の皆様と相談し、感染症対策を講じながら、開催していきたくと考えております。

1学年家庭科「裁縫」、2学年家庭科「調理実習」、3学年総合的な学習の時間「郷土料理体験」で、階上公民館と連携し、地域人材を活用した授業に取り組んでいます。1学年音楽では、「琴」の授業で地域人材を活用しています。「東日本大震災の伝承」をテーマに取り組んでいる防災学習においても、地域の方々から貴重なご指導をいただいております。さらには、子供たちが快適な環境で学習できるようにと、多方面からご支援をいただいております。



項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
防災教育	9	学校で行っている防災学習は実践的なもので、子供たちの防災意識が高まっている	3.7	3.7	0	3.7	3.8	+0.1	3.8	3.9	+0.1
	10	学校・家庭・地域が連携して防災教育に取り組んでいる。	3.5	3.7	-0.2	3.8	3.6	-0.2	3.8	3.7	-0.1
	11	学校は子供や保護者に対し、防災・減災についての情報提供を行っている。	3.4	3.5	+0.1	3.7	3.5	-0.2	3.8	3.7	-0.1

【主な記述意見から】

▲防災教育または地域防災について、保護者との関わりが薄いと感じる。保護者には、子供たちだけの活動と捉えず、地域の一員として主体的に関わってほしい。

▲もっと家庭が参加できれば、子供と防災意識を共有できると思う。

▲防災に対しての生徒の意識に差があるように思える。

☆with コロナ時代の避難所運営や地域との連携の在り方を、今後探っていくことが大切だと感じた。

学校における防災学習に対する評価は高いものの、家庭や地域と連携した取組が課題として挙げられました。今年度の市総合防災訓練が簡略化した形での実施であったり、実施できない地区があったりしたことも原因のひとつとして考えられます。学校で行った避難所初期設営訓練も試行錯誤しながら実施したものでした。実践を通して、これまでと同様の考えや取組では、避難所運営に対応できなくなることが分かりました。学校では、今後、現在の避難所初期設営マニュアルの改訂版づくりに取り組んでいきたいと考えています。階上地区防災教育推進委員会のご指導をいただきながら、生徒会防災委員会が中心となり作成する予定です。ご意見を頂戴したように、学校での子供たちの学びを家庭や地域に伝えたり、家庭や地域での学びを学校における防災学習に生かしたりできるよう工夫していきたいと思えます。

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
保健安全	12	学校は、交通安全や校内生活における安全指導について取り組んでいる。	3.3	3.3	0	3.3	3.2	-0.1	3.4	3.4	0
	13	学校は、健康診断について保護者に知らせるとともに保健相談・指導を行っている	3.3	3.6	+0.3	3.6	3.5	-0.1	3.5	3.7	+0.2
	14	学校は安全で落ち着いた学校生活ができるよう校内美化・環境整備等を行っている	3.3	3.7	+0.4	3.4	3.4	0	3.5	3.6	+0.1

【主な記述意見から】

▲下校時、横に広がっていて車が来ても避けられないため、危ない時がよくある。

登下校時の交通安全に関しては、心配される声もありますので、まちづくり振興協議会をはじめとする地域の皆様のご協力をいただきながら、生徒への声掛けや見回りを継続します。

健康診断は12月の歯科検診をもって無事に終了いたしました。所見がみられた場合は、書面でお知らせしていますので、ご確認のうえ、早めの受診や治療をお願いいたします。心や体に関する相談には、養護教諭が中心となり対応しています。金曜日には、スクールカウンセラーが、火曜日にはスクールソーシャルワーカー（子育て相談）が本校に勤務しておりますので、ご活用ください。申込みは子供でも、保護者（家族）でも構いません。電話（27-2304）でも申込みが可能です。

今年度になり、感染症対策として、トイレ入り口のドアノブを修繕しました。また、各教室に網戸が設置されました。清掃活動においては、各分担区に担当職員が付き、点検や声掛けを行っています。子供たちは消毒作業にも取り組んでいます。職員では、長期休業期間を利用して、校舎内の教科準備室・資料室、倉庫、体育館地下倉庫の備品整理・廃棄を行いました。管理部を中心に修繕作業にも努めています。学校で修繕が不可能と判断したものは、市教委に修繕要望をしています。

校庭の整地や除草はPTAの皆様の協力を賜っております。校庭整地のための工具（H鋼）をPTA本部役員会で了承を得て、PTA会費の中から購入させていただきました。

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
進路	15	学校は子供や保護者に対し、進路等についての情報提供を行っている。	3. 1	3. 1	0	3. 2	3. 4	+0.2	3. 4	3. 5	+0.1

【主な記述意見から】

○具体的で分かりやすく話してもらっている。希望する進路に進むために努力してほしい。

前回のアンケートでは「学校における進路情報の提供」について課題がありましたが、2学期には、2学年で職場体験学習があったり、受験期が近づいたりしたこともあり、改善が見られました。子供たちには、各教室や廊下の掲示コーナーを活用し、様々な情報を発信しています。また、進路に関する子供たちからの質問が以前より多くなりました。今後も生徒や保護者に分かりやすく情報提供できるよう努めてまいります。

項目	番号	調査内容	1学年			2学年			3学年		
			1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容	1回目	2回目	変容
その他	16	教育活動の内容を、学級・学年・学校だよりや学年懇談会等で知ることができる。	3. 4	3. 3	-0.1	3. 6	3. 4	-0.2	3. 5	3. 6	+0.1
	17	学校行事は保護者が参加しやすいように日程等が適切に計画されている。	3. 2	3. 4	+0.2	3. 3	3. 3	0	3. 4	3. 4	0
	18	教職員は、保護者に対して誠意を持って対応したり相談に応じたりしている。	3. 4	3. 4	0	3. 6	3. 7	+0.1	3. 6	3. 6	0

【主な記述意見から】

▲授業参観はフリー参観だと参加しやすかった。ただ、懇談会もあるので、毎回フリー参観とはいかないのでしょうが…

○コロナ禍において、できる限りのことはやれていると思う。少なくなったのは残念。

1, 2学年において「教育活動の内容を知ることができる」の割合が減少しました。多方面から、子供たちや学校の様子をお知らせできるように努めてまいります。

学校行事の持ち方については、多くの保護者の皆さまよりご理解をいただいております。今後も保護者の皆さまが行事に参加しやすいような日程を検討していくとともに、小学校の行事との関連も今まで以上に考慮しながら、次年度の計画を作成していきます。

2 学校行事への意見

- ・コロナが大変な時ですが、学校もよく頑張っていると思う。
- ・コロナ禍で様々な工夫が必要だが、今後も継続して活動できるようにお願いしたい。
- ・運動会は年に一度の楽しみで参加している。

学校行事を楽しみにしている子供が多いこと、そして学校行事を通して育まれる力も大きいことから、学校行事の持ち方については今後も慎重に検討していかなければならないと考えています。PTA本部役員や学年理事の方々を中心に保護者の方々に相談しながら進めてまいりたいと思います。



3 自由記述

- ・語り部について、震災時のことを本人の口から話すというのは良いことだが、子供が小さい時のことなので、語り継いでいくことは大事ですが、だんだんと難しくなっていると思う。そのことについて、学校ではどのように考えているのか。

今年度の1年生は、東日本大震災を3歳頃に体験しました。中には、震災の記憶がほとんどないという生徒もいます。だからこそ、今後ますます、震災の風化を防ぐために、その事実を語り継いでいく必要があると考えます。震災を知らない子供たちも、地域の方々や家族の方々から津波の恐ろしさや震災の教訓をおしえていただき、そのおしえていただいたことを自分の言葉に置きかえて、だれかに語り継いでいくことができると思います。また、そのように次世代へ語り継げる力を付けてほしいと願っています。

本校では、語り部ボランティアのみならず、全校を挙げて、総合的な学習の時間の中で1年生は40時間、2、3年生は45時間を使って「自助・共助+次世代への伝承」というテーマで防災学習に取り組んでいます。今年度は、10の縦割り班に分かれ、20名の地域の方から東日本大震災について聞き取り調査をし、それをもとに探究学習を行いました。学習した成果は12月の防災学習発表会で発表しました。この学びを通して、一人一人が東日本大震災に向き合い、様々な角度から真剣に考えていました。このような学びを発信していくことも「伝承」につながると考えます。本校では、今後も地域や保護者の皆さまのお力を頂戴しながら、防災学習を継続していきたいと思っております。

- ・今の少子化における学校統合について、もっと本気で対応してほしい。早く統合し、子供たちの将来性を伸ばしてほしい。競争のない学校生活は、子供たちの未来に不利になる要素となりうると感じている。

学校統合については、慎重に協議を進めていかなければならないと思っております。頂戴したご意見のとおり、子供同士で切磋琢磨し合える環境づくりを意識した教育活動も取り入れながら、指導にあたっていきたいと思っております。

- ・学校の諸問題について、PTAや地域にもっと相談があってもよいのではないかと思います。まずは、学校運営協議会を十分に活用してもらいたい。
- ・このご時世の中、毎日、子供たちと向き合い、学校行事を進めていただきありがたい。いろいろ大変だが、一つ一つの行事を大事にして共に乗り越えていきたい。
- ・昨今の影響で、活動や行事が制限されているが、その中でいろいろな配慮等がみられ、ありがたい。

心強いご意見やお励ましをいただきありがとうございます。これまで、PTA本部役員会を5回開催し、学校行事等の開催についてなど、その都度、相談しご意見をいただきながら進めてまいりました。地域の方々との連携は、コロナ禍ということもあり、例年よりも不足していると感じています。本校は今年度より学校運営協議会制度を取り入れ、コミュニティー・スクールとなりました。コミュニティー・スクールは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、「地域とともにある学校」を目指していくものです。頂戴したご意見のとおり、このような状況下だからこそ、学校が抱える諸問題について、PTAや地域にもっと相談しながら教育活動を進めるべきだと思います。1月27日（水）には第2回の学校運営協議会が開催され、PTAや地域の代表者の方々にお集まりいただくことになっております。協議の内容については、ホームページ等を活用しながら、保護者や地域の皆様と共有できるように努めてまいります。

